

日本緩和医療学会

東海・北陸支部会員のみなさま

第4回東海・北陸支部学術大会長

黒部市民病院 小林孝一郎

金木犀の甘く爽やかな香りが漂いはじめ、心地よい秋風が吹き抜けるこの頃でございませうが、会員のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のことお慶び申し上げます。

COVID-19の新規登録患者数も減少し、第7波も徐々にですが落ち着いてきており、11月12日に開催いたします第4回東海・北陸支部学術大会を、富山国際会議場（富山市）での現地開催といたしましたことをご報告申し上げます。感染防止策を徹底し、安全で安心な大会運営に努めて参ります。一般演題は口演発表19題、ポスター発表21題のご応募があり、すべて採択されました。多数ご応募いただき誠にありがとうございました。シンポジウム、パネルディスカッション、特別講演、教育講演、そしてランチョンセミナーとご参加のみなさまにとって魅力的なプログラムを組み、有意義な大会となりますよう実行委員一同努めて参ります。

当日まで参加登録は可能ですが、10月21日までに参加登録いただいた方には、

事前に抄録集と参加証をお送りさせていただきますので、ぜひ周囲の方にもお声がけいただき、多数の事前参加登録をお待ちしております。それ以降に登録された方には、現地受付でお渡しいたします。

本大会のメインテーマを「緩和ケアの原点に戻る～変わらないもの、変わっていくもの～」としました。COVID-19により社会全体が大きく変化し、何が正しくて何が間違っているのか、根本的な価値観自体が大きく揺らいでいるように感じます。このような困難にぶち当たったときこそ、原点に立ち返って多くのみなさまと共に考えてみたいと思います。

ここ数年多くの施設が ACP に取り組んできましたが、COVID-19 をはじめとする様々な要因により、現場ではなかなかうまくいかないという現状があります。第 1 会場では、がん治療中、積極的治療が難しくなったとき、療養場所の選定などの場面でどのような意思決定支援を行ってきたのかをテーマとしました。教育講演として「がん治療と緩和ケアの統合」にはじまり、企業共催セミナー「質の高い緩和ケアを実践するためにどうするか～ACP に関する混乱を超えて～」木澤理事長の講演に続き、シンポジウムでは「積極的治療が難しくなった段階での ACP」についてがん治療医、緩和ケア病棟医、緩和ケアチームの医師と看護師が討論します。パネルディスカッションでは在宅医、訪問看護師・薬剤師、

MSW らが「地域連携と在宅緩和ケア」と題して、基幹病院で実践された ACP をもとに在宅でかかわる多職種と共有・連携するうえでの要点や課題について事例をもとに考えます。LINE オープンチャットを用いた聴衆参加型のディスカッションも企画していますので、楽しみにしててください。また、特別講演として来年の第 28 回日本緩和医療学会学術大会長が登壇し、「もう一度、緩和ケアを見つめなおそう」と題して講演と対談を行います。

第 2 会場では、一般演題の口演発表 19 題のほか、特別講演として ELNEC-J コアカリキュラム WPG のお二人による「End-of-life care」についての講演と対談を行います。また、企業共催セミナーでは「がん患者の痛みを緩和する看護実践の真髓」について林がん看護専門看護師が講演します。ポスター発表は、時間を決めて発表者が個別の質問に答えるスタイルとしました。また、ホワイエでは、4 社の企業展示も行います。

学会終了後にお時間がある方は、11 月 6 日からズワイガニも解禁になっておりますので、ぜひ冬の富山湾の海の幸を堪能していただければと思います。また、翌日に観光は如何でしょうか。富山県公式観光サイトのパンフレットをご覧ください。URL：<https://www.info-toyama.com/business/brochures>

東海・北陸支部学術大会は 4 回目で初めて北陸での開催となります。日本緩和医療学会としては、積極的に地域の医療・福祉の進歩と発展に寄与する、また仕

事の関係で全国学会に参加が難しい医療従事者との情報交換の場と考えております。お忙しい時期とは存じますが、周囲の非会員の方にもお声がけいただきまして、ぜひ富山国際会議場に多数ご参集いただければ幸いです。

末筆ながら、みなさまのますますのご健勝とご多幸を衷心よりお祈り申し上げますとともに、これからも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。富山にてお待ちしております。

2022年10月3日

小林孝一郎

第4回東海・北陸支部学術大会 日程表

11月12日（土）富山国際会議場				
時間	第1会場（多目的会議室203/204）	第2会場（多目的会議室201/202）	会議室205/206	ホワイエ
10:30-10:45	開会式（開会の辞）			
10:45-11:45	教育講演 テーマ：がん治療と緩和ケアの統合 演者：廣野靖夫・梶浦新也 座長：龍澤泰彦	一般演題 01-1～5 座長：加藤泰史	ポスター掲示 P1～21	企業展示4社 チラシ配布台
10:55-11:45	休憩	休憩		
12:00-13:00	ランチョンセミナー1 「質の高い緩和ケアを実践するためにどうするか～ACPに関する混乱を超えて～」 共催：塩野義製薬株式会社 演者：木澤義之（筑波大学附属病院 緩和 支持治療科） 座長：小林孝一郎	ランチョンセミナー2 「がん患者の痛みを緩和する看護実践の 真髄」 共催：第一三共株式会社 演者：林めぐみ（横浜市立大学 医学部 看護学科） 座長：村上望		
12:00-13:00	休憩	休憩		
13:10-14:40	シンポジウム テーマ：ACPの実践～積極的治療が難しく なった段階でのACP～ 演者：高野智早、柴田和彦、梶浦新也、峠 正義、向井未年子 座長：松木康二郎	一般演題 02-1～8 座長：児玉麻衣子		
13:10-14:40	休憩	休憩		
14:50-15:20			ポスター発表	
15:30-16:30	特別講演・対談1 「もう一度、緩和ケアを見つめなおそう」 演者：下山理史 司会：小林孝一郎	特別講演・対談2 演題：End-of-life care 演者：久山幸恵 司会：村上真由美		
15:30-16:30	休憩	休憩		
16:40-18:10	パネルディスカッション テーマ：地域連携と在宅緩和ケア 1) 在宅看取りを前提とした外来在宅共同指 導を算定した症例 演者：桶口史篤、中井尚美、田辺裕子、唐 崎奈央子 2) 暮らしの保健室からつなぐ地域のACP 演者：西出慎吾、近藤正朗 3) 聴衆参加型ディスカッション 座長：桶口史篤	一般演題 03-1～6 座長：加登大介	ポスター撤去	
16:40-18:10				
18:15-18:30	閉会式（次年度大会長挨拶、閉会の辞）			